



Maki Kusumoto: lines, words, between and beyond

線と言葉・楠本まぎの仕事展

〒1984年のデビュー以来、38年間にわたる漫画家・楠本まぎの仕事を通覧する展覧会。選り抜かれた言葉と、研ぎ澄まされた黒と白の線描によって構成された画面、装幀のこだわりも含め、比類なき美字を貫き続ける楠本まぎ、耽美く退廃的、巧緻でスタイリッシュな世界は、世代を超えたファンを獲得し、様々な話題作を生み出しました。漫画界だけでなく、ファッションや音楽分野をはじめ、その表現から影響を受けたアーティストも枚挙にいとまがありません。原画の他に、エッチング、全書刷、手書き指定の入った校正紙、フランス、作品内に描かれた小道具まで、楠本まぎのこだわりの仕事を大公開。

弥生美術館
Yayoi Museum

2022.
10.1 [Sat] 12.25 [Sun]
October December

開館時間・午前10時～午後5時（入館は午後4時半まで）
休館日・月曜日（公休）、十月十日、夜間館、翌十月十一日（火）休館
料 金・一般／○○○円・大・高生／九○○円・中・小生／五○○円・竹久夢二美術館とラ館併せで観、ただけです。



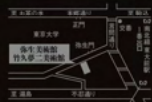
監修・楠本まぎ / ゲストキレター・楠本亜紀 / アートディレクター・秋田和徳

協力・京都国際マンガミュージアム・京都精華大学国際マンガ研究センター
Landchaft・小学館クリエイティブ・CafeBar 十誠
助成・公益財団法人朝日新聞文化財団

弥生美術館

東京都文京区弥生2-4-3 TEL 03-3812-0012
東京都文京区弥生2-4-3 TEL 03-3812-0012

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3 TEL 03-3812-0012
小・東京小千代田線「御茶屋」or 南北線「東大前駅」共に「出入口より徒歩7分」
小・JR「上野駅」公園口・しのは千口より徒歩20分（東京大学 弥生門前6分）※駐車場は、さいまんのひでお車でのみ、はこ運送ください。



◆同時開催◆
「夢二をとりまく人間関係」—交流から生まれた美と言の葉—
竹久夢二美術館
takehisa yumeji museum

Maki Kusumoto
lines, words, between and beyond

線と言葉・楠本まきの仕事展

Maki Kusumoto:
lines, words, between and beyond

弥生美術館

yayoi museum

2022.

10.1 ▶ 12.25
October December
[Sat] [Sun]

開館時間 ● 午前十時～午後五時（入館は午後四時半まで）
休館日 ● 月曜日 ※ただし、十月十日（月祝）開館、翌十月十一日（火）休館
料 金 ● 一般 / 〇〇〇円 ● 大・高生 / 九〇〇円 ● 中・小生 / 五〇〇円 ※竹久夢二美術館と併せてご覧いただけます。



©Maki Kusumoto
監修 ● 楠本まき / デザインディレクター ● 楠本亜紀 / アートディレクター ● 秋田和徳

協力 ● 京都国際マンガミュージアム ● 京都精華大学国際マンガ研究センター
Landschaft ● 小学館クリエイティブ ● Cafe-Bar 十誠
助成 ● 公益財団法人朝日新聞文化財団

弥生美術館
yayoi museum

線と言葉・楠本まきの仕事展

の仕事展

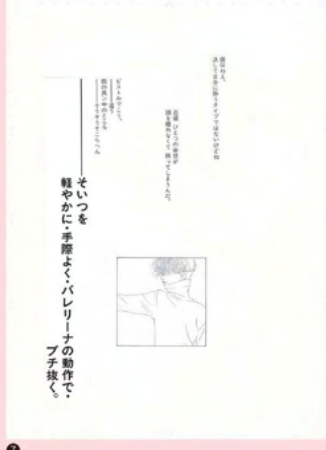
1984年のデビュー以来、38年間にわたる漫画家・楠本まきの仕事を通覧する展覧会。

選び抜かれた言葉と、研ぎ澄まされた黒と白の線描によって構成された画面、装幀のこだわりも含め、比類なき美学を貫き続ける楠本まき。耽美で退廃的、巧緻でスタイリッシュな世界は、世代を超えたファンを獲得し、様々な話題作を生み出しました。漫画界だけでなく、ファッションや音楽分野をはじめ、その表現から影響を受けたアーティストも枚挙にいとまがありません。原画の他に、エッチング、全書籍、手書き指定の入った校正紙、フックス、作品内に描かれた小道具まで、楠本まきのこだわりの仕事を大公開。

Maki Kusumoto:
lines,
words,
between
and
beyond



✦ 楠本まき Maki Kusumoto
16歳の時に『週刊マーガレット』でデビュー。その後『KISSxxxx』、『Kの葬列』、『致死量ドリス』などの作品で熱狂的な人気を博した。2020年には最新作『赤白つるばみ・裏』火星は錆でできていて赤いのだ』を刊行。フランス、イタリア、アメリカ、韓国など海外でも翻訳本が出版されている。イギリス在住。



- ① 『Two Decades』展のためのエッチング(2003)
- ② 『いかさま海亀のスープ』より 彩色前ペン画(1995)
- ③ 『Ch11』より 雑誌『ダ・ヴィンチ』のための描き下ろし(2000)
- ④ 『悲劇的 / その他卵に関する小編』装幀ラフスケッチ(2002)
- ⑤ ビデオ『KISSxxxx』のための描き下ろし(1991)
- ⑥ 『致死量ドリス』より(1996)
- ⑦ 『Kの葬列』より(1993)
- ⑧ ビデオ『KISSxxxx』ポスターのための描き下ろし下絵(1991)

「線と言葉・楠本まきの仕事」展 Maki Kusumoto: lines, words, between and beyond

2022年10月1日(土) ▶ 12月25日(日) ●会場=弥生美術館 yayoi museum

- 開館時間=午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ●休館日=月曜日 ★ただし、10月10日(月・祝)開館、翌10月11日(火)休館
- 料金=一般1,000円/大・高生900円/中・小生500円(竹久夢二美術館と2館併せてご覧いただけます。)
- 協力=京都国際マンガミュージアム、京都精華大学国際マンガ研究センター、Landschaft、小学館クリエイティブ、Cafe & Bar 十誠 ●助成=公益財団法人朝日新聞文化財団
- 監修=楠本まき ●ゲストキュレーター=楠本亜紀 ●アートディレクター=秋田和徳

- 作品保護のため、一部原画の展示替えを行います。詳細はウェブサイトをご覧ください。
- 併設の竹久夢二美術館「夢二をとりまく人間関係 一交流から生まれた美と言葉の葉」も併せてご覧いただけます。「萩原朔太郎大全 2022」特別コーナーにて、楠本まき作品内の朔太郎の詩を引用したページの原稿(『KISSxxxx』『赤白つるばみ・裏』)も展示します。
- Cafe & Bar 十誠にてコラボイベント開催 10月1日(土)～11月6日(日) <https://www.zikkai.com>

関連書籍『線と言葉・楠本まきの仕事』

展覧会にあわせ、楠本まきの仕事の全貌を凝縮した書籍が刊行されました。楠本まきインタビューや編集者、デザイナーとの対談、京都国際マンガミュージアム館長・荒俣宏ほか豪華執筆陣による寄稿など。 ●刊行=Landschaft ●装丁・デザイン=秋田和徳 ●販売中

最新のデジタル技術で蘇る愛蔵版シリーズ <楠本まきコレクション>好評刊行中

Vol.1 『Kの葬列 愛蔵版』

Vol.2 『KISSxxxx 愛蔵版』I (写真)

Vol.3 『KISSxxxx 愛蔵版』II (2022年9月29日発売)

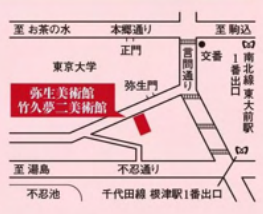
Vol.4 『KISSxxxx 愛蔵版』III (2022年11月29日発売)

●発行=小学館クリエイティブ ●発売=小学館

弥生美術館 <https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>
Twitter: @yayoi_yumeji

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-3 TEL: 03-3812-0012
東京メトロ千代田線「根津駅」or 南北線「東大前駅」共に1番出口より徒歩7分
JR「上野駅」公園口・しのばす口より徒歩20分(東京大学 弥生門斜め前)
★駐車場はございませんのでお車でのお越しはご遠慮ください。

◆同時開催◆「夢二をとりまく人間関係 一交流から生まれた美と言葉の葉」
●.....竹久夢二美術館



※新型コロナウイルスの影響により、会期・休館日・開館時間等が変更になる場合があります。